

第8回みんなのタウンミーティング会議報告（令和5年度第5回）

- 1 開催日時 令和5年8月24日（木）午後7時00分～8時30分
- 2 開催場所 オンライン
- 3 参加者 市長及び市民7名
- 4 会議次第
 - (1) 開会
 - (2) 市長あいさつ（市政報告）
 - (3) 懇談（フリーテーマ）
 - (4) 閉会

5 懇談内容要旨

	件名	ご意見・ご要望等	市長からの回答等
1	市民活動について	<p>私は職場が府中であって、そちらでシビックテックの活動というものを6年、7年ぐらいやっています。市民活動に興味がある住民が気軽に参加したりとか、あるいは何か仲間と一緒に新しい活動を始めたりするといった活動を支援してくれるようなステップというか、場所というか、支援、チームとか。そういったことに関して、小金井市さんの取組を知ればなと思っています。</p> <p>小金井市は、すごくポテンシャルがあると思っているので、何か自分ができることがあればと思っています。府中市では、市民活動センタープラッツというのが、駅前の5階、6階に、50年かけてできた施設があるのですが、ただ、それより前にもう市民活動支援センターという、NPOさんがやっていた相談窓口が駅前にあったりとかしまして、僕はそこで相談をして、団体を設立したんです。登録制があって、ちゃんと認定制度があって、その人たちが、例えば、今だったらLINEで情報が送られてくるとか、窓口だけじゃなくて受皿みたいなのがあったりとか、横のつながりが活発になってできる協働のイベントみたいなものが、年に何回かあったりします。拠点ってなかなか難しいところがあると思うんですけど、既にある施設だとかをちょっとリニューアルするとか、オープンスペースもいろいろあるので、ぜひそういう民間のところなんかもうまく活用して市民活動を応援する、そういった窓口や場所が結構たくさんあるような市になっていただけたらありがたいなと思っています。</p>	<p>小金井市でいきますと、その市民活動の支援というのは、大きく2つありまして、ボランティアセンターということと、市民協働支援センター（準備室）というのがあります。それ以外でも、小金井市としても、市民協働を進めていく上での協働担当の職員も、担当課もありますので、その状況に応じて支援をしているというのが現状です。</p> <p>ただ、そのボランティアセンターにしても、市民協働活動支援センター（準備室）にしても、今、社会福祉協議会のほうに委託をして請け負っていただいているということですので、市として、そういう気軽に相談できる窓口が、恐らくイメージされているレベルでできているかということ、ちょっと課題があるような気はしております。</p> <p>ただ、難しいのですけども、まず、そういう一つの窓口をしっかりとつくるという方法と、それ以外でも、例えば、産業振興に関わる部署であったりだとか、もしくは、市民参加という観点で考えると、企画政策課というところがいろんな市民参加の働きかけとして、無作為抽出でいろんな人たちに呼びかけて会議、もしくはイベントに参加してもらったり、というのもやっているんですけども、それぞれの担当課で、そういった新しい市民の活動、何かしたいとか、そういった気持ちがある方に対して、いろんなその働きかけや、場合によっては、こちらにちょっと相談してもらったほうがいいよとか、そういう御案内はしておるんですが、きちっとした体制としてつくれているかということ、まだちょっと課題があるのが現状です。もし、例えば府中だったらこんな感じだよとか、他のまちはこんな感じで気軽に相談しやすいよ、みたいなものがあるのであれば、教えていただければありがたいなと思うんですが、いかがでしょうか。</p> <p>ありがとうございます。補足いたしますと、さっきスライドで新庁舎建設という話もしたんですけども、あそこは庁舎をつくるだけではなくて、福祉会館という建物も一緒に併設するような複合施設なんです。そこに、市民協働活動支援センターとして、（準備室）が取れて、改めてオープンする予定です。複合施設になることによって、庁舎と合体した施設ですので、ある意味、その市民協働の拠点として、改めてそういう総合的な窓口というか、場合によっては、市役所の方にも相談に行けたりとか、市役所の人間がその協働支援センターの方に行って、一緒に何か話ができたりとか、そういうスペースもあったりとか。そういう、庁舎をつくるだけではなくて、市民協働の場として、庁舎、福祉会館という複合施設をつくらうという、こういう狙いですので、私としては早く実現させて、それが結局、単に新しい庁舎ができて綺麗だねという話ではなくて、市民サービス、もしくは、市民協働をさらに活性化させていく拠点となるという、そういう場となることを私としてはイメージしております。ですので、それだけではなく、おっしゃっていただいたように、やっぱりこう気軽に相談できる環境づくりというのは、例えば、学校の話もありましたけども、一市民だけではなく、団体とか、もしくはそういう教育機関とか、そういうところとの連携を、じゃあ、どう強化するのというのは、我々としても一つの課題だと思っていますので、そのような環境づくりに邁進していきたいと思っております。</p>

	件名	ご意見・ご要望等	市長からの回答等
2	不登校について	<p>私は中学校、高校と、教育の現場にずっといた者です。高校中心ですけれども。例えば今、日本全国で問題になっている不登校の問題なんですけれども、小金井に、学校に行けなくなっているお子さんが何人いて、どういう対応を…ということ、個人情報のあることなのであまり詳しくは聞けないと思うんですけれども、大体どこに行けば分かるのでしょうか。</p> <p>そして、そういうお子さん方に対して、私自身もまだ学校で教えているんですけれども、もう定年は過ぎてしましまして、何か子どものために出来ることないかなと探しております。英語に関しては大体のことは教えられますけど、そういうのをちょっと伺う窓口というか、何かできることありませんかと聞くことができる窓口はどこでしょうか。</p>	<p>不登校の現状について、ちょっと今、手元に資料がないので、人数のお答えはできないんですけど、確か公表していたような気がします。調べて御連絡をいたします。</p> <p>【会議終盤に回答：小金井市の不登校児童生徒数、資料から調べてもらいましたが、令和4年度の実績では小学校で150人、中学校で120人です。ちなみに令和3年度は、小学校が121人、中学校は94人です。それぞれやっぱり増えていきますね。数字としては、ホームページに載っています。】</p> <p>ざっくりとした状況でいきますと、小金井市は、不登校児童生徒の割合が東京都の平均と比較すると、いわゆる出現率という数字でいうと、中学校は東京都平均より低いぐらいなんですけど、小学校の子どもは若干、出現率が高いんですね。ただこれは、すごくややこしい問題なんですけど、不登校というカウントの仕方というのは、ちょっと自治体によって違うところがございます。小金井市は、いろんな事情があるけど、「おおむね不登校」という定義に当てはめているんです。他の自治体では、病気など色んな理由で、別にカウントしている自治体も多いようですので、もしかしたら、不登校という公表をしている数字自体は、割合でいうと、他の自治体は低く出ているかもしれません。実態は捉え方が様々ですので、何とも言えませんが、小金井市もそれなりに不登校の児童生徒がいるということは事実です。</p> <p>その上でお問合せいただいたのが、何かできることはないかということですね。本当にそういうお申し出はありがたいです。どこに相談すればいいかというのは、さっき問題提起いただいたような話にも近いと思うんですが、この不登校については、やはり小金井市教育委員会の指導室というところに、一度お問合せいただければよいのかなと思います。一般的なお問合せを受けて、関わっていただく事例があるのかどうかは、よく分かっていないんですが、もしかしたら、こういう御支援というのに関わっていただけるかもしれません。実際に今、学校に行けない子どもたちが、学芸大学の中にある「もくせい教室」という、いわゆる適応指導教室って呼ばれるものなんですけれども、もともと本町にあったものを学芸大学の中に移転しまして、そこで学芸大学の敷地に場所を無償で貸していただいて、学生がサポートしています。市の職員もいるんですけど、学生にかなりサポートいただいて、そういう良い連携は取れているといえますか、良い場所はつくれています。</p> <p>市として設置できているそういう支援の場所というのはそれだけで、あとは、学校の中に、教室には通えないけど、別室で指導を受けられるような態勢も、今年度からスタートしているところです。これは全ての小中学校ではないんですけど、支援する方にそこに入っていただくという、そういう取組を今、市としてはやっているところです。</p> <p>ですので、どういう形になるか、どういう方が必要かなど、色々マッチングみたいなこともあるかもしれませんが、一度教育委員会の指導室に問合せいただければいいかなと思います。</p>
3	新庁舎・新福祉会館について	<p>新庁舎ができると、今の庁舎と、第二庁舎はどういうふうな形になるのでしょうか。</p>	<p>新庁舎ができたなら今の本庁舎と第二庁舎の跡地がどうなるか、ということなんですけども、まず、第二庁舎は賃貸で入居していますので、市の持ち物ではないです。土地も建物も両方ともです。あそこは別の民間企業のオーナーさんの持ち物ですので、単に移転するというだけになるので、市として何か言及できることはありません。</p> <p>本庁舎は、土地も建物も市の持ち物ですので、その跡地活用をどうするかということについては、今ちょうど、市としてアンケートを取るなどして、跡地活用の方針というのを決めました。ただ、それで決まりではなくて、今後、市民参加ワークショップなども踏まえて、最終的な土地活用計画というのを2年間かけて作る予定になっています。また、この本庁舎をどうするかについて、あくまで今の市の方針としては、民間活力を導入して一定の公共的な施設を何か入れようか、というのを考え方として整理しているところです。ただ、これも市の方針で、いろんなプロセスを踏まえた上で計画に落とし込んでいく段階で確定いたしますので、そういうふうにご捉えていただければと思います。</p>

	件名	ご意見・ご要望等	市長からの回答等
4	ごみ処理について	<p>小金井市にもう10年ぐらい住んでいる大学4年生で、ちょうど卒論の研究で小金井市のごみ処理場について調べています。2000年代の二枚橋の処理場についてとか、いま浅川の方で日野と国分寺と小金井の3つの市で、処理場を動かしているという、今までの流れみたいなものを調べたら、こんな感じだったんだと驚きました。その中で2つ、質問させていただきます。</p> <p>1つ目としては、今、ごみ袋が小金井市は有料になっていると思うんですけど、この10年ぐらいあんまり値段が変わっていないという気がしています。もし、日野の処理場をお願いするのであれば、その分の補助みたいなものを小金井から出しているのかなと想像していて、その分のお金というのは、ごみ袋に上乘せされているのかなというのを質問させていただきます。</p> <p>もう一つは、今、日野の浅川の処理場は、たしか30年稼働したら別の場所に移すような約束の下に動かしていると思うんですけど、その場所は現状で決まっているのかを教えてくださいたいです。</p>	<p>ごみ袋の値段が変わってないということは、そうだと思います。ここで聞ききたいのは、要するに、ごみ処理場を3市で運営するに当たって、そのお金はどこから出ているのかということだと思いますが、基本的に3市で共同処理をするために浅川清流環境組合という、3市でごみ処理場を運営するための一部事務組合という、新たな組織をつくって運営しています。そこからは当然、3市からお金を拠出して施設を運営しているんです。そのお金の配分については手元に資料がないんですけども、例えばごみの量とか、人口とか、そういうことを勘案して、それぞれの市がいくら負担するかというのを決めています。</p> <p>ごみ袋有料化による、そのごみ袋で得た収入だけで賄えているわけではないので、それ以外の、市民の皆さんから納めていただいた税金から一定お金が出ているのが現状です。ただ、うちは日野市、国分寺市、小金井市の3市でやっていますが、今、多摩地域で単独でやっているのは武蔵野ぐらいですかね。あとは、やはり2つ、3つ、4つの自治体で同じように集まって、一つの場所を共同で運営するというをやっています。どこもおそらく、ごみ袋の収入だけでは運営できないので、それプラスアルファのお金を拠出して運営しているというのが実態です。</p> <p>また、日野市、国分寺市、小金井市の3市で共同処理をするにあたっての30年後の話ですが、共同処理を決めた段階での覚書がありまして、この3市で引き続き30年後も共同処理をするのであれば、日野市以外を基本とするという覚書になっています。本格稼働したのが令和2年4月で、今4年目に入って安定的な稼働がようやくできている状況であり、今後のスケジュールについては3市で協力して連携して、今後話し合っていくということが言われておりまして、まだ、何をどうするというは一切決まってない状況です。</p>
		<p>ごみ処理って、自分のところで出たごみは自分のところで処理すべきみたいな考え方が昭和の後半に言われていて、やっぱり今この状況になってしまって、日野市をお願いしているという状況だと思うんですけど、自区内で処理する原則みたいなのは、今、そぐわないというか、やはり他の市でも共同でごみ処理をして、ごみ処理場がないところは、代わりにお金を出すとか、今の流れってそういう感じなんですか。まとめてやった方が、効率が良いというか、どうですか。</p>	<p>日野市と国分寺市と小金井市で、3市でお金を出し合って、3市で共同ごみ処理をするための組合、一部事務組合という、別の組織をつくったわけです。ただ、場所が日野市にあって、地域の住民の皆さんの理解があつての処理になりますので、日野市さんに、もしくはその地域の方々に様々な御負担といいますか、そういったことを御理解、御協力があつて実現しているところなんです。自区内処理が原則というのが、かつてあつたというのも認識しておりますが、3市の話だけではなくて、いろいろな自治体でも、同じような組合を2市、3市、4市集まってやっているというのが現状ですので、これがいいかどうかというのは、我々としては、自前で施設をつくれなかったという過去の経過がございますので、共同処理がいいんだということを我々の口からは言えないです。</p> <p>ただ、いろんな事情があつて、それぞれの自治体でもいろんなことがあつて、どこかと組んで一緒にやっているという、そういう状況が増えているのは、状況としては事実かと思えます。</p>

	件名	ご意見・ご要望等	市長からの回答等
5	三宅村との交流について	<p>市長のSNSを見させていただいているんですが、数日前の投稿で、三宅村との友好都市の交流事業を拝見しました。今、コロナが5類になったところで、今後、何か友好都市の交流事業でやりたいことなどあれば教えていただきたいと思っています。</p>	<p>市長からの回答等</p> <p>SNSも見させていただいております。三宅村に関しては、4年ぶりにこの交流事業が今年できて嬉しく思います。三宅島は自治体の名前で言うと三宅村なんですけども、小金井市がこのような友好都市盟約というのを結んでいるのが実は三宅村だけなんです。今回交流事業も、かつてはもっと多かったみたいなのですが、たしか定員20人弱で17人が行ったみたいで、三宅は本当に非常にいい環境ですので、できるだけ多くの方々に行っていただきたいです。その三宅との交流をどう広めて、更に広めていくかということ、具体的ではありませんが、模索したいなどは思っています。</p> <p>そもそも三宅村と友好都市盟約を結んでいるということを知らない市民は多分たくさんいらっしゃると思いますので、そういったことをしっかり周知し、第2のふるさとではないんですけど、自分の何か居場所みたいなものを、もう一つ持つみたいな意味合いも込めて、三宅を多くの市民の皆さんに知っていただいて、交流を深めていきたいということが一つです。</p> <p>あと、こういう交流ができる自治体があるというのは非常に良いことだと思っております。実は多摩地域の自治体でも、姉妹都市を結んでいる自治体がいくつかあったりします。それをやるということではないのですが、地域の方々と交流ができる、そういう機会をもっと増やしていきたいなというふうに思っています。</p>
6	FC東京の応援等について	<p>FC東京の記事がよく出ているのですが、私自身もすごいサッカーが好きなので、スポーツ振興の面で何かやりたいことなどがあれば教えていただきたいと思っています。</p> <p>FC東京との交流事業にすごく興味があるので、もっと選手と触れ合える場があったら嬉しいと思っています。よろしくお願いします。</p>	<p>FC東京のスポーツ振興に関してですが、FC東京さんとの連携をもっと深めたいと思っています。本市はFC東京さんの株主でもありますので、色んなイベントに御協力いただいて一緒に事業をやったりもしていますが、まだまだ我々がFC東京さんを応援するというスタンスがちょっと弱かったなとか、取組の弱さとか、そういうところも感じているところですので、もう少し市を挙げてFC東京さんを応援する取組も増やしつつ、逆に、FC東京さんのコンテンツといいますか、選手との交流などをもう少し進めて、市民の皆さんにしっかり還元できるような連携というのを強めていきたいと考えています。</p> <p>具体的にいま思い浮かばないんですけど、こういうことをやったらどうかというご提案などがあれば教えていただきたいです。</p> <p>副市長は小平市の職員だった方なので、小平市にちょうどFC東京さんの練習場があるという関係もあって、実は本市との連携よりももっと深い連携というか、選手の方々と交流する機会が多いなど、いろんな話を聞いているところです。本市もまだまだ、出来ていないことがあると思いますので、選手との交流なども含めて、FC東京さんと話をして、そういった機会をつくって増やしていきたいように取り組んでいきたいと思っています。</p>

	件名	ご意見・ご要望等	市長からの回答等
7	学童保育の今後のビジョンについて	<p>私は、放課後児童健全育成事業を主にやっているのですが、小金井市の今後の学童の進め方等の進捗を聞きたいと思っております。小金井市さんは学童が全入制で狭隘状況も進んでいて、民設民営の誘致をしている、というところまでしかわかってはいません。</p> <p>今の学童、民間が進めている学童もあれば、公設公営だったり、指定管理、業務委託など、色々あるんですけど、やはり安心安全面をすごく提案の中で求められたり、障害、アレルギー、今医療的ケア児など、とにかく仕事のレベルがかなり上がっています。現場でやっていて、指導員にここまでできるかな、というレベルの高さを今、求められていて、私はもう17年ぐらいやっているんで、一通り仕事は覚えてきたんですが、20代の若者や、50代、60代の新しく入ったパートさんにそこまでできるかな、というぐらい、やはり大変な仕事だなと感じています。</p> <p>小金井市の今後求めていく理想の学童についてです。どうしても民設民営は習い事が多かったり、公設は安心安全が強かったりというところで、オルタナティブスクールとか、フリースクールみたいのを立ち上げて、不登校支援と放課後支援を両方やっているという民間の方も結構出てきていますが、事業としてやっていくにはなかなか厳しかったりします。補助金を活用して行ったりもするんですけど、私も、今、民間でやっているところから、自分でこれからどういふうに踏み出していくなと。やっぱり小金井市に住んでいるので、小金井でまずはいろいろやっていきたいというところで、市長の今後のビジョンというか、お役に立てて、なおかつ自分も仕事としてきちんとやっていければ、ありがたいなというところで、もし進捗があれば教えていただければと思います。</p>	<p>おっしゃったように、求めるレベルがやっぱり高く、その割に報酬などがそれに見合っていないだろうなと学童を運営していても感じているところで、なかなか人が集まらない状況もあったりします。</p> <p>まず、その進捗なんですけど、いま御紹介いただいたように、初めて市としては民設民営の学童を誘致しようということで、そこに補助金を出すということで募集をかけているところなんです。まだどこにも公にしてないので、具体的なことは言えないのですが、今月21日が締切りでしたので、それを踏まえて今後の対応という段階になっています。</p> <p>今、小金井市の学童は、御紹介いただいたように狭隘化が進んでいる、要するに、入所児童の増加が顕著で、その割にはスペースが足りず、非常に困っている状況です。</p> <p>まず、一番大事にしたいのは、やはり安心安全であるということですが、その要素が非常に多いということですよ。ただ、やはり学童保育というのは第2の家庭といえますか、そういう位置づけで小金井市も公設公営の学童保育所を運営してきた手前、そこをベースとして大切にしたいというところがあります。</p> <p>今後さらに入所児童が増えていく状況も想定される中で考えないといけないのは、放課後の過ごし方の選択肢だと思います。今、市で持っている学童の3分の2は委託していますので、公設公営、公設民営、そして、新しく民設民営もあります。市が関わらない、完全に民間でやっているところもありますが、学童保育だけではなく多様な子どもの放課後の過ごし方という観点で、色んな場所をつくらないといけない、もしくは、そういう居場所をつくろうという動きもあると聞いております。学童保育だけで言い出すと切りがないのですが、やはり、その子どもたちが放課後に過ごす選択肢をどう構築するのか、というところが大事なのだろうなと考えているところです。</p> <p>また、子どもたちも学年によってニーズが変わってくるというのは、私も子どもを学童に入れていたので感じているところです。ただ、そこに父母会とか、親がどう関わるかということも、学童であれば場の質を保つ重要な要素だとは思っているのですが、全てにおいてそういうわけにもいきませんので、まずは、放課後の子どもたちの居場所の選択肢について、市がどこまでどう関わって担保するのかということ。そして、それを支える地域、もしくは、親の関わりをどうするかということ。この辺を、場合によってはどこかで整理していくこともあるのかなと考えております。</p> <p>あくまで私の方でぼんやりと考えていることですが、習い事を中心にするような、そういう民間の場所というのも選択肢の一つだと思っていますし、ではそういう所と連携できるのかとか、そういうことも今後は考えていく必要があるかなとは思っております。</p> <p>実は来年度、「のびゆくこどもプラン」という、市の子どもに関する5年間の計画を策定していきます。そこで、今の学童保育の定員をどうするかということもですが、放課後の居場所づくりについても、具体的にはその計画には反映されないかもしれませんが、どうやってその居場所を確保していくかという議論なども、おそらくその計画策定の中で行われていくと思います。そういうことも踏まえて、市としても、これからの放課後の子どもの過ごし方の選択肢のようなものを、しっかり考えていくきっかけにしたいなと思っています。</p>

	件名	ご意見・ご要望等	市長からの回答等
		<p>市長のお話をやっぱり聞けたというのはありがたいことで、すし、私自身、教育を親が負担するのは、共働きが増えてきたんで厳しいだろうなど。要は、教育のアウトソーシングとか、もう放課後の子どもの健全育成は外部にもっと任せてもいい時代になったんじゃないかなと思うのが一つ、コロナを挟んで、安心安全の担保というところで、どうしても今働いている、既存の3年、4年ぐらい働いている職員は、とにかく安全面を第一にという教育を受けてきているので、子どもの頃の大事な遊びとか、そういったものを教えられる指導員がもう高齢化してほとんどいなくなっていたり、途中でそういった伝統的な部分が指導員から途切れてしまって、「安心安全を守ること」イコール「学童の仕事」みたいな時代になってきてしまっているところも気になっています。冒険遊び場みたいな活動がある自治体もあれば、本当にガチガチに「民間活力」と言って、民間にほぼお任せという自治体もあります。小金井市がこれからどんなふうになっていくのかを一緒にお手伝いしながらやっていければなと思っていますので、今後ともよろしくお願ひいたします。</p>	<p>今おっしゃっていただいたことで感じたことが、遊ぶということですね。これまでの学童は、それもしっかりやっていたんですけど、大規模化によってもう対応できなくなり、止めてしまったというのも実はあります。ですので、それも含めて、今後の学童でどうしていくかというところはしっかり考え直さないといけないなと思っているところです。</p>
8	高齢者スマホ教室について	<p>4月に1度お話をしたんですが、高齢者向けのスマホのことをお願いしました。小金井のスマホのアプリ等々をもっと違う教室の方に展開してほしいという話をしたんですが、どうなっていますでしょうか。</p> <p>現状、介護福祉課のほうでスマホの教室をやっているんですが、私もそこへ伺ってそのことを聞いたら、スマホのことは使い方が教えたことがないと言われました。スマホ教室の人たちに、小金井のことについてのアプリのこととか、4月から数か月経っていますが全く伝わってないというのはどうしてなのでしょう。</p>	<p>4月19日の会で高齢者のスマホ教室に関連して、今、おっしゃっていただいたことを御意見いただいております。そういう御意見について、担当のほうに、そういった御意見があって、これから考えていこうという話をしている段階でございまして、申し訳ありませんがまだ具体的に何か成果が上がっているわけではございません。</p> <p>大変申し訳ありません。改めてしっかりと周知したいと思います。</p>

	件名	ご意見・ご要望等	市長からの回答等
9	CoCoバスのルートについて	<p>以前にこがねい掲示板というところで、市長さんのほうから、CoCoバスのあのルートの決め方に関する情報があって、全部読ませていただいて、なるほどと納得できたことがありました。</p> <p>ただ、そのときにちょっと思ったのは、大きな病院に通う方、具体的に言うと桜町病院ですけども、あそこに行く人って体の悪い人、病気の人が多いわけで、そういう方がアクセスするのに使うことが多いんじゃないかなと。バス停から桜町病院って結構歩くものですから、あの辺りにそういうサービスがあれば、すごく良いんじゃないかなと思ったもので、その決め方の基準みたいなものを分かりやすく教えていただければと思うんですが、いかがでしょうか。</p> <p>私も確かそのときに、何かそういう説明があったように記憶しています。そこで私が疑問に思ったのは、七軒家のほうにバスが通っていますが、あのものすごく狭い所、向こうから車が来たら絶対すれ違えないという所をずっと走っているのに、どうして桜町のところを走れないんだろうと率直に思いました。これが疑問の基本です。</p> <p>分かりました。いろんなやり方があるし、乗る方、使う方の目的もあると思うので、いろんな検討があると思うのですが、ただ、私がちょっと思ったのは、やはり体の弱い方とか、御老人とか、そういう方に優しいまちであってほしいというのは正直なところで、それだけが疑問です。ありがとうございます。</p>	<p>私が認識している範囲でいきますと、桜町病院にアクセスしやすいルートについては、もともとのCoCoバスのルートの設定の段階からいろんな声もありました。結果的に、今回その再編事業でルートを若干検討し直したときも、やはりそういう声もあったのですが、CoCoバスを走らせるための道路の幅員、道路幅と、それが相互通行かどうかということとか、そういうことを全て勘察した上で、CoCoバスが走れる道はここだよねというのをしっかり洗い出した上で、そのニーズに応じてルートをいろいろ検討したという経過があります。</p> <p>私の記憶によると、桜町病院に近づこうとするところの道の道幅がやはり狭いので、CoCoバスはやはり通せない、という判断になったと記憶しております。確かそんな経緯で、桜町病院にアクセスしやすいルートの希望は当然多いんですけども、残念ながらそれが実現できてないということで、その幅員、道路幅については、警察からも指導といいますか、そういうことを確認しながら、CoCoバスが通れる道はここ、というのを色々洗い出しているんですけども、それに適合しなかったという事情があると記憶しております。</p> <p>野川・七軒家循環は、確かバスの種類が違って、ハイエースみたいなワゴンタイプです。幅員の幅の設定が違うので、あのワゴンタイプだと走る道はもっと増えます。対して、桜町病院を走っているあの北東部循環というのは、乗降客数がCoCoバスの中でも多いルートを通っているがゆえに、小さいバスではなくて、やはり大きいボンチョというタイプのバスを走らせるということになります。その前提でいくと、さっき言った結果になってしまうんです。限られた車両台数、財政的な事情もあって、それをどうやりくりするかという中では、残念ながらそういう結論になってしまいます。</p> <p style="text-align: center;">-</p>